

北海道美唄聖華高等学校寄宿舎（若草寮）について

美唄聖華高等学校には、衛生看護科生の女子生徒が3年間生活する「若草寮」があります。

寮は、保護者（寄宿舎父母の会）と教員の支援のもとに、寮長を中心に寮生全員が協力しながら2名1室の集団生活です。毎日の寮生活の中から、礼儀作法や規則正しい生活習慣、気づきや気遣いができる力が身につく、将来的な自信にもつながっていきます。実際に宿泊を伴う実習などで、協調性や成し遂げる力として大きな評価を得ています。しかしながら、個人の自由とはならない面もあり、全員が規則を遵守することが求められます。寮則のしおりの記載以外にも、他者へのマナーや先輩後輩の関係から生じる約束事もあります。こうしたことは、社会に出た時には当然のこととされるものですが、高校生になったばかりの頃は、厳しいと感じる寮生も少なくありません。

以下の説明は参考としてご覧いただき、これから聖華高校で過ごす厳しい5年間を考えた時に、寮生活が適切かどうかをご本人と保護者で十分に検討されたうえで、入舎の申し込みをお願いします。年度途中の退舎は原則として認めておりません。

（ただし、寮則などが守られない場合や寮生活を送る上で問題があると判断された場合はその限りではありません。）
また、途中退舎の場合、厨房委託業者との契約として、年間1人30万円程度の契約料が発生しますので、残金をお支払いいただくことになります。

寮への入舎は入学時のみ認められ、途中からの入舎はできません。また、衛生看護科3学年卒業とともに卒業となり、下宿やアパート、通学へ移行となります。



寄宿舎の申し込みと決定の流れ

本校受検に要する願書の書類と共に寄宿舎の書類を配布しています。寄宿舎の案内と入舎希望の確認用紙を同封していますので、願書を提出する際に一緒に提出してください。

入舎可能人数は、毎年、20名程度です。また、どこまでの地域が入舎許可範囲となるかは応募状況によっても変わってきます。学校から居住地の距離、登校所要時間等を考慮し、遠方より順に決定します。同距離の希望者が多い場合には抽選によって決定します。そのため、入舎の可能性は年度によって異なり、遠距離であっても希望者が多い場合には入舎許可とならないこともあるため、寄宿舎以外の生活についても検討のうえ申し込み願います。

入舎許可は、推薦合格・一般入試にかかわらず合格発表時に学校からの合否結果と共に通知します。事前通知はしていません。学校周辺の下宿やアパートの紹介および斡旋はしておりませんので、入舎許可とならなかった場合のことも考えて申し込みください。

寄宿舎での生活

起床から就寝まで、寮則に基づいて規則正しく寮生全員が参加することで運営しています。そのため、寮生一人ひとりが役割をきちんと行うことが求められます。家庭のような個人の自由とはならないことが多く、設備や備品の使用制限、毎日の清掃、食事の内容や時間の制限など多々あります。また、アルバイトは許可していません。

寮生活から得られることはたくさんある一方、不自由であるや辛いといった意識にもなる可能性があります。何か知りたいことがある場合、事前のご質問にはお答えしておりますので、十分に検討のうえ申し込みください。

食事

「3食きちんと食べる」が原則です。アレルギーへの対応については「そば」と「牛乳」のみ代替をしますが、その他のアレルギーは個人の責任で対応をお願いしています。また、好き嫌いなどの嗜好や食習慣が大きく異なるなど、個々の要望には対応できませんのでご了承ください。

食事は賄業者に委託しており、メニューによっては冷凍食品などの利用もあります。

閉寮期間以外は、全ての食事を提供します。平日の昼食など学校にいる時間はお弁当として提供します。また、実習、部活動や学校行事もお弁当持参になります。状況により、現地調達をしなくてはならない場合は、その分の食費を返金し、現地で食事をしてもらっています。

帰省

長期の休みは閉寮となります。ゴールデンウィーク、夏休み、冬休み、春休み、5連休以上の休業では、閉寮となり、帰省していただきます。閉寮時間の16:30以後は寮内に残ることはできません。

通常の週末の帰省は、寮生本人の届の提出と保護者からの学校への連絡をもって許可しています。門限時間などの約束事があります。帰省回数の制限はありませんが、近隣の寮生は毎週帰省し、遠方の寮生だけが負担しないよう、お互いに協力し交代することで支障のないようにしています。

病気の対応

健康管理のため、体温計を各自で用意してもらいます。寮には常備薬はありません。本人が薬局で購入することによる事故の危険もあるため、必ず保護者があらかじめ整え、本人がしっかり理解した上で使用を許可しています。

病院受診が必要な場合は、原則、教員へ連絡した上で保護者と本人とで進めていただいています。但し、緊急時は教員が付き添うことがあります。尚、授業時間内に体調不良となった場合は、舎監不在のため寮は開けていません。授業時間内は保健室で療養し、放課後になってから寮に戻るようになります。

また、新型コロナやインフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症の感染や、登校できない状況が続くようなケガや疾病の場合は、帰省していただきますので。保護者の送迎をお願いします。

寮生活の決まり

食事	在寮中は、土・日曜日、祝日も全て3食提供。 食事は食堂でとり、食堂外への食事の持ち出しはできない。 昼食は学校へ弁当を配達。舎室では軽い飲食程度のみ許可。
面会	外来者の訪問は禁止。玄関のみ。
外出	20:00 門限。遅刻厳禁。時間以降は「外出届」が必要。
洗濯	7:00～21:55 各階に3台ずつ計12台の洗濯機と乾燥機(無料)
テレビ	食堂と学習室に計4台有り。舎室へのテレビの持ち込み不可。
パソコン	持ち込み可。(Wi-Fiあり、速度が遅いため個人持ち込みも可)
冷蔵庫	持ち込み不可。学年ごとに冷蔵庫2台ずつあり。
携帯電話	持ち込み可。但し、通話には使用場所や時間に制限あり。
帰省	事前の帰省先の申請のもとに、週末の帰省は「帰省届」行い、 保護者からも帰省の電話連絡が必要。
清掃	毎日20:10から、寮生全員で分担し寮内を清掃。 大掃除は年4回実施。(その際に年3回の舎室替)

若草寮の1日の流れ

6:30	起床
7:00	朝食
7:45	点呼
8:10	登校
12:35	昼食(学校)
15:15～	下校
17:00～19:30	夕食
17:00～21:30	入浴
20:00	門限
20:10	清掃
20:30	点呼
21:30	風呂清掃
22:00	消灯

経費

入舎費	入舎式当日に、18,000円を納入していただきます。(舎費寄宿舎使用料とは別途)
舎費	舎費は生活費と預託の形で徴収し運用しています。前年度の動向から必要額を算出して設定し、年度末に精算後、残金を返還します。 主な経費は、厨房委託料、光熱費、食費、衛生材料費、行事・レクリエーション等の教育娯楽費、消耗品費です。食費を除く経費は入寮者数で割るため、入寮者数によって増減します。 令和8年度(入寮者38名)は、年間996,000円を12回に分割して徴収しています。令和9年度の確定額は、入寮者数が確定した入学後にお知らせします。
寄宿舎使用料	月額3,480円を12ヶ月分納入していただきます。

※舎費が未納となった場合には「道立学校寄宿舎使用料の未納者に対する取扱い」に準じた対応を行い、6ヶ月分未納となった場合には退舎していただくこととなります※単年度決算としています。食費は学校外で食事をとらざるを得ない実習や部活動では返金しています。個人事情では食費は返金しません。年度末に最終的な残金を分配します。

ご不明な点は担当までご質問ください (連絡先) 北海道美唄聖華高等学校 舎務部 0126-64-2386